印刷

シラバス参照

老年医学の基礎知識

科目コード	2689545
学習センター	岩手学習センター
学習センターコード	03A
クラスコード	K
科目名	老年医学の基礎知識
科目区分	専門科目：生活と福祉
ナンバリング	320
定員	50名
担当講師	アカサカ ヒロシ 赤坂　憲 （岩手医科大学医学部衛生学公衆衛生学講座准教授）
日程 実施時間	2026年10月17日（土）第1時限 10:00～11:30 2026年10月17日（土）第2時限 11:40～13:10 2026年10月17日（土）第3時限 14:00～15:30 2026年10月17日（土）第4時限 15:40～17:10 2026年10月18日（日）第1時限 10:00～11:30 2026年10月18日（日）第2時限 11:40～13:10 2026年10月18日（日）第3時限 14:00～15:30 2026年10月18日（日）第4時限 15:40～16:25 2026年10月18日（日）試験・ﾚﾎﾟｰﾄ等 16:25～17:10
実施会場	この授業は、【岩手学習センター】で行います。

授業概要

【授業内容】
　高齢者では、複数の疾患を抱えていたり、多数の薬剤を内服していたり、病気以外の原因によって日常生活に支障をきたしているケースがあります。そのため、臓器別に細分化された医学ではなく、総合的に、包括的に対象者をとらえて考える「老年医学」の考え方は重要です。本講義では、超高齢社会のわが国において、医療関係者に限らず、広く役に立つと考えられる老年医学の基礎知識について学びます。

【到達目標】
　高齢者の医療や生活に関係する医学的知識を身につけ、それをもとにモデルケース（講義の中で示します）に対して、どのように考えて対処するべきかを論じることができる。

【授業テーマ】
第1回はじめに：何歳から高齢者か
第2回マルチモビリティ（複数疾患の併存）とポリファーマシー（多剤併用状態）
第3回老年症候群とその評価の方法（高齢者総合機能評価）
第4回フレイルとサルコペニア
第5回生活習慣病（高血圧、心臓病、糖尿病、腎臓病）
第6回認知症
第7回身体機能と疾患をふまえた治療方針の決定
第8回まとめ

【受講前の準備学習等】
　公益財団法人長寿科学振興財団による「健康長寿ネット」(https://www.tyojyu.or.jp/net/index.html)のページの中から、ご自身で興味のあるテーマについて、読んでください。

【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
筆記用具

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【参考書】
・老年医学系統講義テキスト（日本老年医学会／西村書店／¥4,950／ISBN=9784890134304）
・改訂版　健康長寿診療ハンドブック（日本老年医学会／株式会社メジカルビュー社／¥1,100／ISBN=9784758304955）

【その他(特記事項)】

戻る

印刷

シラバス参照

心理学実験２

科目コード	2689146
学習センター	岩手学習センター
学習センターコード	03A
クラスコード	K
科目名	心理学実験2
科目区分	専門科目：心理と教育
ナンバリング	320
定員	19名
担当講師	タチバナ　リョウ 立花　良 （岩手大学人文社会科学部准教授）
日程 実施時間	2026年10月17日（土）第1時限 10:00～11:30 2026年10月17日（土）第2時限 11:40～13:10 2026年10月17日（土）第3時限 14:00～15:30 2026年10月17日（土）第4時限 15:40～17:10 2026年10月18日（日）第1時限 10:00～11:30 2026年10月18日（日）第2時限 11:40～13:10 2026年10月18日（日）第3時限 14:00～15:30 2026年10月18日（日）第4時限 15:40～16:25 2026年10月18日（日）試験・ﾚﾎﾟｰﾄ等 16:25～17:10
実施会場	この授業は、【岩手学習センター】で行います。

授業概要

【授業内容】

この授業は自分用パソコン持ち込み方式（BYOD：Bring Your Own Device）で実施します。
【受講前の準備学習等】
【受講者が当日用意するもの】
【その他（特記事項）】
を読み、受講環境を自身で整えられるか確認してから科目登録してください。

心理学の基礎的な実験 3 種を行います。皆さんはそれらの実験を「実験者」や「参加者（協力者）」として経験し、さらにその結果をレポートにまとめます。受講生の皆さんは、原則として8 回の授業すべてに出席し、3つの実験すべてについてレポートを作成・提出する必要があります。

【到達目標】
心理学の実験を「実験者」や「参加者（協力者）」として体験的に学ぶことにより、心理学で重視される実証研究の考え方と具体的な手続きを説明できるようになる。
実験で得られたデータを適切な手法によって分析し、その結果を考察して、心理学の標準的な形式に則ったレポートとしてまとめることができる。

【授業テーマ】
第1回ガイダンス：心理学における実験とは
第2回実験Ⅰ：記憶範囲の実施と解説
第3回実験Ⅱ：記憶の系列位置効果の実施と解説
第4回データの分析・統計解析とレポートの書き方
第5回心理学実験についての解説、心理学のレポートの書き方について
第6回実験Ⅲ：メンタルローテーションの実施
第7回実験Ⅲ：メンタルローテーションの解説
第8回データの分析・統計解析とレポートの書き方、全体のまとめ

【受講前の準備学習等】
・インターネットへの接続が必要です。学習センターでの無線LAN利用については、システムWAKABA学内リンクにある「面接授業のページ」または「学生生活の栞」をご参照ください。
・OS等のセキュリティ修正プログラムを適切に適用してください。また、ウイルス定義ファイルも適切に更新してください。
・準備物や特記事項をよく確認願います。基本的なPC操作についても、あらかじめ確認してくることが望ましいです。
・シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。ただし、実習課題について、あらかじめ調べておく必要はありません。また、授業で学習した内容をもとにして復習を行い、理解を深めてください。
・この授業の受講には、心理学の基礎的知識が必要です。放送大学または他大学において心理学の講義（概論、研究法、統計学など）を受講し、4単位程度を修得済みであることが望ましいです。事前に上記の講義を受講することが困難な場合には、放送大学のインターネット配信で「心理学概論（’24）」、「心理学研究法（’20）」、「心理学統計法（’21）」を視聴してください。

【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
1.持参する端末
・ノートパソコンを持参してください。（タブレットやスマートフォンは不可です。）
2.OSの指定
・ WindowsまたはmacOS
3.ソフトのインストール
・ブラウザはMicrosoft Edge（エッジ）、Google Chrome（クローム）、Mozilla Firefox（ファイアーフォックス）、Safari（サファリ）のいずれかが必要です。
4.その他
・マウスを持参してください。
・Word2024が必要です。
・Excel2024が必要です。
・ソフトのバーションは可能な限り、新しいものにしてください。
・紙媒体でレポート提出してもらいますが、学習センターにプリンターはありませんので、自宅やコンビニ等で印刷してください。場合によっては、メールなどの提出方法に変更することもあります。

【教科書】
教科書は使用しません。

【参考書】

【その他(特記事項)】
　充電を完了した端末と、充電切れが生じたときのためにACアダプタも必ず持参してください。
　端末等に不具合が発生した場合、講師や学習センター職員では対応できないため、自身で解決する必要がありますのでご注意ください。
　なお、端末の故障や必要なソフトをインストールしていなかったなど、本学の責によらない事情で受講できなかった際は、単位認定できない場合がありますのでご了承ください。
　心理学実験1、心理学実験2、心理学実験3は、難易度の違いによるものではありません。いずれの科目からでも受講可能です。

戻る

印刷

シラバス参照

情報化社会と大学教育

科目コード	2689588
学習センター	岩手学習センター
学習センターコード	03A
クラスコード	K
科目名	情報化社会と大学教育
科目区分	専門科目：心理と教育
ナンバリング	320
定員	50名
担当講師	ユアン　フジエ 苑　復傑 （放送大学教授）
日程 実施時間	2026年10月24日（土）第1時限 10:00～11:30 2026年10月24日（土）第2時限 11:40～13:10 2026年10月24日（土）第3時限 14:00～15:30 2026年10月24日（土）第4時限 15:40～17:10 2026年10月25日（日）第1時限 10:00～11:30 2026年10月25日（日）第2時限 11:40～13:10 2026年10月25日（日）第3時限 14:00～15:30 2026年10月25日（日）第4時限 15:40～16:25 2026年10月25日（日）試験・ﾚﾎﾟｰﾄ等 16:25～17:10
実施会場	この授業は、【岩手学習センター】で行います。

授業概要

【授業内容】
　インターネットの普及、デジタル技術の進展、AI技術の発展によって、21世紀の社会が大きく変わりました。社会が変われば、大学教育も変わります。大学が直面する課題を、歴史的かつグローバルな文脈のなかで捉え、国際比較の視点から、日本とアメリカ、中国の社会と大学、三か国の比較をしながら、遠隔高等教育の制度、現状、改革課題を解説し、大学の「教育力」を考えます。

【到達目標】
　デジタル技術、AI技術の発展が大学教育の内容と方法にどのような変化と可能性をもたらしてきたかについて、日本やアメリカ、中国の社会経済の変化と大学の変化を踏まえ、説明することができる。

【授業テーマ】
第1回デジタル技術や政治・経済・社会の変貌と大学教育
第2回数字で見るアメリカの社会と大学の変貌
第3回数字で見る日本の社会と大学の変貌
第4回数字で見る中国の社会と大学の変貌
第5回アメリカの大学教育とICT活用
第6回日本の大学教育とICT活用
第7回中国の大学教育とICT活用
第8回情報化社会と大学教育の課題

【学生へのメッセージ】
　新聞・雑誌・書物など大学教育とAI技術に関連する記事になるべく目を通してください。高等教育改革と国際競争のなかで、高等教育の国際化、遠隔教育の進展が日米中のそれぞれの社会にとって、どのような意味があるかを考えます。

【受講前の準備学習等】
　シラバスの内容から判断して、自己学習に努めてください。

【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
　自分が読んだ、授業との関連書籍または論文・新聞記事をどれでもよいが、1部用意して、持参してください。

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【参考書】
・大学教育の再構築ー学生を成長させる大学へ（金子元久／玉川大学出版部／¥4,180／ISBN=9784472404641）
・雑誌 『IDE　現代の高等教育』（月刊） 関心のある1冊（IDE大学協会　／IDE大学協会事務局／¥1,250）

【その他(特記事項)】

戻る

印刷

シラバス参照

離散数学

科目コード	2689634
学習センター	岩手学習センター
学習センターコード	03A
クラスコード	K
科目名	離散数学
科目区分	専門科目:情報
ナンバリング	320
定員	30名
担当講師	ﾄﾐｴ　ﾏｻﾔ 冨江　雅也 （盛岡大学文学部准教授）
日程 実施時間	2026年10月24日（土）第1時限 10:00～11:30 2026年10月24日（土）第2時限 11:40～13:10 2026年10月24日（土）第3時限 14:00～15:30 2026年10月24日（土）第4時限 15:40～17:10 2026年10月25日（日）第1時限 10:00～11:30 2026年10月25日（日）第2時限 11:40～13:10 2026年10月25日（日）第3時限 14:00～15:30 2026年10月25日（日）第4時限 15:40～16:25 2026年10月25日（日）試験・ﾚﾎﾟｰﾄ等 16:25～17:10
実施会場	この授業は、【岩手学習センター】で行います。

授業概要	【授業内容】 　グラフ理論の初歩について解説します。まず初めにグラフの定義について紹介し、次数列および握手補題について解説します。それから一筆書きについてグラフの立場から見ていきます。 またグラフ彩色問題、ハミルトン路問題について概観して、最後に平面グラフの話題を扱います。特に地図の塗り分けとの関連について眺めて5色問題を証明します。 【到達目標】 ・グラフの握手補題について説明することができるようになる。 ・グラフの彩色について説明することができるようになる。 ・ハミルトン路問題について説明できるようになる。 ・平面グラフの諸性質について説明できるようになる。 【授業テーマ】 第1回グラフの基礎的な言語を理解し握手補題を理解する 第2回一筆書きについてグラフの立場から理解する 第3回グラフ彩色について解説し、ある種のグラフ操作が本質的であることをみる 第4回グラフ彩色の手法について紹介し、さらに一般的な側面として彩色多項式を導入する 第5回ハミルトン路問題について解説する 第6回平面グラフについて基礎的な事柄を扱う 第7回オイラーの定理を紹介する 第8回5色問題を証明する 【学生へのメッセージ】 　グラフの基礎について紹介します。自分であれこれ図を書くと理解が深まります。 【受講前の準備学習等】 ・シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。 ・自分であれこれ具体例を考えるように努めてください。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。 【受講者が当日用意するもの】 　紙と鉛筆、もしくはペン 【教科書】 ・点と線の数学 ～グラフ理論と4色問題～（瀬山士郎／技術評論社／¥1,958／ISBN=9784297105105） 【参考書】
	【その他(特記事項)】

戻る